

花粉症は一年中あります 日医コースから

◎今年はずいぶん花粉が少ない。

今年も二月末からスギ花粉が原因と考えられている花粉症がはじまっています。

今年はスギ花粉の飛散する量が少ないといわれます。こういう年には、スギ花粉が終了して次のヒノキ花粉の飛散がはじまるまで一〜二週間が開くことが考えられます。

スギ花粉が終わったとき安心して薬を止めますとヒノキ花粉が飛散したときに、強い症状が起ることが多いとされています。

スギ花粉が終わってもしばらく薬を続けた方が安全なようです。

◎花粉は一年中飛んでいます。

スギ花粉は二月から三月に多く飛散し、それを共にアレルギー性鼻炎も起こってきます。スギのピークをすぎると次にはヒノキになるそうです。スギとヒノキはふつう続いてくるので、違いははっきりしないようです。

五月〜夏にかけてはカモガヤなどのイネ科の花粉が多くなります。

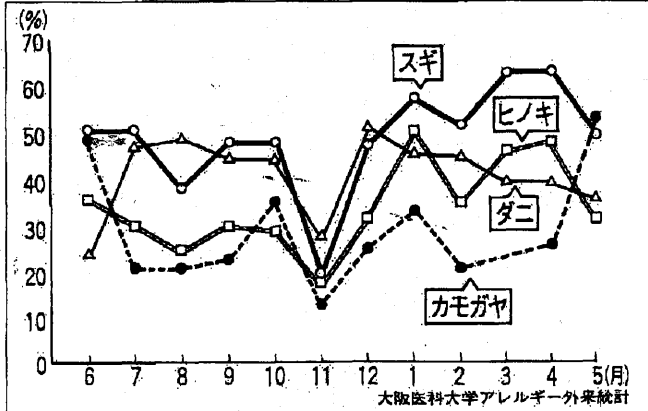
イネ科の花粉は小さい肺の中にまで入ってしまい喘息様の症状を出すことがあります。

八月以降になりますと、ブタクサ、ヨモギなどの菊科植物の花粉によるものが出てきます。

イネ科やキク科のものは植物の丈があまり高くないので花粉があまり遠くへは飛散しないようです。

スギ花粉のシーズンでない時に花粉症が起こりますと、カゼかと思いい、市販薬を長く服用つづける人もあるようです。注意しましょう。

(図) 主な抗原の月別陽性率



(表) 主な花粉症原因植物と花粉飛散時期

植物	飛散時期
スギ	1月下旬〜4月中旬
ヒノキ	4月上旬〜5月の連休頃
シラカンバ	4月〜5月 (北海道地方)
草本植物	
・春	
ハンノキ属	3月中旬〜4月中旬 (近畿から中国地方) (オオバヤシバシ)
・初夏から夏	
イネ科	3月〜8月 (スズメノテッポウ、スズメノカタビラ、カモガヤ、ハルガヤ、オオアワガエリ、ホソムギ)
・夏から秋	
キク科	8月〜11月初旬 (ブタクサ、オオアタグサ、ヨモギなど)

奥津医院の花粉症対策

基本的には

① 抗アレルギー剤

朝一回または朝夕一回眠くならない薬を服みます。

② 少し強い抗アレルギー剤

眠くなるので鼻水、鼻づまりの強いときや寝る前に使います。

③ 点鼻薬

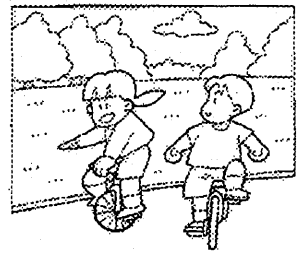
④ 点眼剤
ここまで使うとほとんどの人が症状をコントロールできます。

す。

効果が十分でない人には

・ガンマグロブリン剤の注射をします。

E・メールを送って下さい。
norikazu@tecnet.or.jp
FAX 0465-72-2347



インターネットを使って情報を交換する方法に、ホームページとE・メールがあります。

ホームページというのは、奥津医院も出しています。新聞の広告のようなもので仕事の内容や、お知らせしたいことをのせておくと興味のある人が、コンピュータと電話回線を使って見にくるというものです。

E・メールというのは電話やファックスと似ています。一面の加藤弘美さんの記事は、加藤さんが院長あてに送って来たE・メールの文章と写真をそのままのせました。

Eメールは外国など遠い所の人と連絡をとるのに大変役立ちます。こちらが好きな時間に送っておくと相手も都合の良い時間に(メールが来てるかな)と見ればよいのです。世界中にほんの僅かな時間で届き、料金も僅かです(10円とか20円とか)ファックスでもE・メールでもこの新聞に記事を送って下さい。

院長

みなさんの質問や投稿をお待ちしております。

★受付からのお願ひ
月初めには必ず保険証を受付けにお出し下さい。
診察券は毎回お持ち下さい。

3月・4月の休診日

(日曜・祭日)
水曜・土曜・第一火曜午後)

